

第2回横浜市ホームレス自立支援施設指定管理者第三者評価委員会議事録		
1	日時	平成24年11月22日(木) 13:00~17:00
2	開催場所	寿福祉プラザ2階会議室
3	出席者	新保委員長、川崎委員、佐々木委員、佐藤委員、横山委員 (委員は五十音順) (5人) 事務局 (5人)
4	欠席者	なし (0人)
5	開催形態	非公開
6	内容	(1) 第1回委員会議事録の確定 (2) 自立支援施設視察 (3) ヒアリングの実施 (4) 評価についての意見交換

内容

■第1回委員会議事録について

事務局より、第1回委員会の議事録を配付し、確認を行った後、議事録として確定した。

■自立支援施設見学

指定管理者の案内により、自立支援施設の見学を行った。

■ヒアリング

主な質疑（回答は指定管理者）

・利用者意見の把握について

→第三者委員の利用実績や意見箱の設置はないものの、相談員が面接等の機会を捉えて聞き取り、把握している。

・路上生活の経験がない比較的年齢の若い利用者や女性利用者への対応について。

→女性利用者は女性の相談員が担当するようにしている。これまでの利用者層と比べて、若い年齢層の利用が増えており、効果的な支援方法については今後の課題である。

・体制の確保や職員のスキルの維持について

→職員の募集手続きは1か月ほどかかるが、速やかに対応するよう努めている。必要なスキルが備わった人材を採用するようにしている。外部の研修の機会を利用するとともに、法人としても人権研修には力を入れている。

・リスク管理について

→コンプライアンスについて、リスク管理委員会の組織化に努めている。利用者情報を管理しているパソコンは外部ネットワークと接続していない。

・会計処理について（新社会福祉法人会計基準に基づいて行っているか）

→現状は、これまでの基準に基づいて行っている。平成27年度から対応する予定である。

■評価についての意見交換

<Ⅰ 利用者本人の尊重>

・利用者を尊重した支援や施設運営を行っていると考えますが、個別支援計画の策定にあたって、一層の向上を期待したいのと意見があった。

<Ⅱ サービスの実施内容>

・利用者の自立に向けた支援に努めているとの意見があった。

<Ⅲ 地域に開かれた運営>

- ・地域との連携や実習生の受け入れを積極的に行っているとの意見があった。

<Ⅳ 人材育成・支援技術の向上>

- ・研修等の各種制度により、人材育成に努めているとの意見があった。

<Ⅴ 経営管理>

- ・法人内部の監査において、評価過程が明確になることが望まれるとの意見があった。

■その他

- ・各委員が評価案を記載し、事務局に提出することとなった。
- ・第三回委員会で、最終的な評価を確定することとなった。